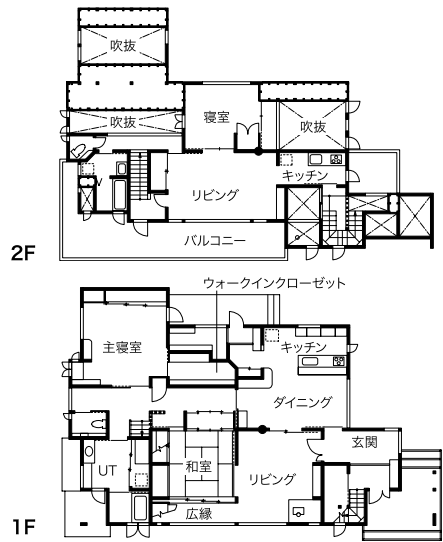


建築データ

設計・施工 ■ (有) 栗駒建業
 構造規模 ■ 木造・2階建て
 延床面積 / 239.15㎡ (約72坪)
 主な外部仕上げ ■ 屋根 / 陶器瓦、外壁 / 塗装仕上、建具 / 玄関ドア: 断熱ドア、窓: アルミ樹脂複合サッシ
 主な内部仕上げ ■ 床 / 無垢材(チーク材等)、壁 / 漆喰仕上、天井 / 無垢材(ヒノキ、パイン等)
 断熱仕様 ■ 〈充填断熱〉床下 / スタイロエース、壁 / ロックウール、天井 / グラスウール
 暖房方式 ■ エアコン・薪ストーブ・温水式床暖房
 概算工事費 ■ 6,000万円(税込)

平面図



- 1階キッチンは対面式。重厚な背面収納は、旧居の和室や階段に使っていたケヤキ材を再利用し、地元の家具職人に製作を依頼して造りつけにした
2. キッチンからダイニング方向を見る。スプルース材の造作引き戸の繊細さと、スギ丸太の大黒柱の力強さとのコントラストが空間を引き締める。丸太柱横の引き戸を開けると、リビング
3. 和室にはゆとりある広縁をしつらえた。突きあたりの吊り押入れ、和室の造作建具と柱には東北産ヒノキ材を採用。広縁はリビングにもつながる
4. スギ柱の網代天井にケヤキの床柱、ヒノキの長押しと柱、建具。吊り押入れの上には神棚も造作。地域材を多く採用した和室に、無垢材の美しさと匠の技が輝く
5. 十和田石と東北産ヒノキを採用した造作の浴室。自然素材の質感を生かした浴室も主の希望の一つだった。住まう家族が理想とする暮らし方、住まいに対する思いを忠実にカタチにするのが、栗駒建業の家づくりのスタイル
6. リビングには、薪ストーブを採用。材を吟味した住まいにふさわしいストーブまわりのしつらいをと、栗駒建業の提案で希少な地元素材、秋保石を用いた。テレビ台は耳つきの東北産ヒノキを採用した造作



私たちの取り組み



無垢の地域材を扱うには、経験と技術が不可欠です。これからも地域の森林資源を守り、生かしていくため、私たちは地元の専門学校や工業高校へ定期的に出向いて授業を行ない、後進の育成に努めています。また、地域の製材所と協働し、ベテラン退職者の優れた技術と経験を若い職人に伝える取り組みを行っています。



(有) 栗駒建業
代表取締役
高橋 渉

問い合わせ先
 (有) 栗駒建業
 仙台市泉区市名坂字新門前24-7
 TEL.022-373-3104
<http://www.kurikomakengyou.com/>

県産金山スギの柱など、私たちらしい仕事が生かされた一軒です。

弊社では、大工が働く加工場でこうした仕事の一端に触れていただけの催しを行なっています。また、新築のお客さまには大工と一緒に使用材にほぞ穴を開ける手刻み体験をしていただいています。この催しは、引き渡し後も気軽に大工にメンテナンスの依頼ができる、良い関係づくりにも役立っています。

私たちが目指しているのは、地元材を、地元の大工が使い、地元で建てる「完全地産地消」の家づくりです。1棟でも多く理想の住まいが実現できるよう、大工技術の修練に努めています。

35年前、栗駒で大工をしていた先代が仲間の大工と共に仙台市で起業したのが、弊社の始まりです。以来、木を知り尽くした経験豊富な職人たちが注文住宅を数多く手掛けてきました。私たちが得意とするのは、地域材をはじめとする無垢材を生かした家づくり。機械的なプレカットではなく、吟味した木材に伝統的な手刻みを施し、材に仕立てていきます。

2年前に完成した仙台市のM邸は、震災でダメージを受けた旧居の部材と吟味した材を用い、ベテラン大工が腕を振るいました。スギ柱の網代天井、造作建具、山形

- 木を知り尽くした大工が建てる家
- 目指すのは「完全地産地消」の家
- 地域材を生かせる次代の人材育成

工務店編 | 02

栗駒建業